

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地(畦畔、防風林含む)、水路、ため池、農道(路肩を含む)を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	てんじんのしんかんきょうほぜんきょうぎかい 天神野新環境保全協議会	ふりがな 実施場所	うおづしてんじんのしん 魚津市天神野新
活動内容	<p>集落の児童会等と連携し、農道両側の総延長約1,100mに約4,000球の水仙を植栽した。現在は、除草や欠株の補植等を行い、施設の景観形成の維持に努めている。鮮やかな黄色の水仙の花が咲き誇る「スイセンロード」は地域の憩いの場所として定着している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>組織の結成を期に、農家のみならず非農家を含めた地域住民全体の環境美化意識の向上や、世代を超えた交流の活発化を目的に共同活動に取り組んでいる。</p>		
時期・回数	9～10月・2回		
参加者	活動組織の農業者、児童会等 約40人		
配慮事項	<p>植栽時には植物学者を招き、水仙の特徴や生育のノウハウについて全員参加での勉強会を開催し、共有認識を図り植栽している。また、「スイセンロード」について定期的に巡回点検を行い、雑草の繁茂や欠株の状況を確認している。 毎年、「スイセンロード」の維持・向上を図るため、児童会との話し合いの場を設けている。</p>		

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地(畦畔、防風林含む)、水路、ため池、農道(路肩含む)を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	なかおかんきょうほぜんかい 中尾環境保全会	ふりがな 実施場所	ひみしなかおちく 氷見市中尾地区
活動内容	<p>地域住民が協力して地域資源の適切な保全管理を図っていくことの重要性や働きを理解してもらえるよう、まず実践できる活動として、景観形成のための施設への植栽を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>集落内の担い手が減少する中で、農地の保全、農村景観の向上を目的として、平成20年に設立した。自治会や各種団体との連携し、平成21年から荒廃した遊休地に菜の花を3年間植栽した後、水田に還元させた。子供から高齢者まで参加できるように、平成24年からは排水路の法面にヒメイワダレ草を4年計画で植栽したほか、平成28年からはため池の堤防に、芝桜の植栽を計画した。</p>		
時期・回数	年1回(11月)		
参加者	集落の各種団体・約30名		
配慮事項	<p>集落の各種団体の代表との会合で日程調整や参加者への協力を話し合っている。 事前に、植栽場所の草刈りやシート張りを実施しておき、芝桜の植栽当日は、苗を植えるだけにしておく。 ヒメイワダレ草の植栽が一段落して、次にどんな景観形成や啓発活動に取り組むか話し合う中で、能越自動車道から、ため池の堤防が目に入ることから、ここに芝桜を植栽すれば組織内外へのPR活動にもなるとの意見でまとめ、実施している。植栽をした後は、月に1回の雑草取りをして管理している。</p>		

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地、水路、ため池、農道を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	おじまかんきょうほぜんこうじょうたいさくきょうぎかい 小島環境保全向上対策協議会	ふりがな 実施場所	となみしおじま 砺波市小島

活動内容

チューリップをプランターに栽培し、チューリップフェアに合わせて地区内の道路に飾った。約1ヶ月間道路を華やかにし、球根の地産地消に協力できた。



背景・経緯

砺波市では、チューリップフェアへの来客増加を図るため、チューリップ公園の内容の充実に努めている。それに伴い、小島地区でも何か協力できることはないかと考え、整備した。周りからも高評価を得ており、活動を継続する。

時期・回数 年1回(12月球根植え付け、3月プランター移設、5月片付け)

参加者 構成員 延べ約50人

配慮事項

- ・球根の植え付けを12月初旬までに行う。
- ・4月からは雨天以外は毎日灌水を行う。
- ・しぼんで落下した花びら等のきめ細かい撤去。
- ・強風対策。
- ・プランター撤去の際の花の識別。
- ・花が終わって約3週間後に球根を回収する。

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地、水路、ため池、農道を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	ごかねふるさとをまもるかい 五ヶ種ふるさとを守る会	ふりがな 実施場所	となみししょうがわまちごか 砺波市庄川町五ヶ
活動内容	<p>景観形成のため年2回の花壇の植栽及び野菜(サツマイモ等)の植え付けを行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>花壇作りを行うことにより、景観保全に努めている。</p>		
時期・回数	年2回(5月 花壇の植栽、野菜植え付け、11月 チューリップ球根植え付け)		
参加者	活動組織構成員(延べ25名)及び小学生以下の子供たち(13名)		
配慮事項	<p>春から秋の期間に様々な花と野菜を作っており、近くの保育所の子供たちが常に訪れている。子供たちが安心してお花畑で遊べるよう、草刈り等を行っている。</p>		

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地(畦畔、防風林含む)、水路、ため池、農道(路肩含む)を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	くろかわちくかんきょうほぜんかい 黒河地区環境保全会	ふりがな 実施場所	いみずしくろかわ 射水市黒河
活動内容	<p>平成27年から「農道を芝ざくらで飾ろう」と企画し、約900mある水路の法面に「芝ざくら」を植栽している。児童クラブや長寿会などの幅広い年齢層の住民のほか、女子ハンドボールチーム「アランマーレ」の選手も参加し、住民との触れ合いを深めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>水路法面の雑草対策として何かできないかと地域で話し合った結果、地域住民で農道一面に芝ざくらを植栽することで、普段水路で遊ぶことの無くなった子どもや高齢者に対し、水路の役割や危険性をみんなで考えるような機会となるように企画している。</p>		
時期・回数	年4回程度 (4月、5月、8月、9月)		
参加者	活動組織の農業者・非農業者・児童クラブ・長寿会など 約100人		
配慮事項	<p>黒河地区環境保全会の構成団体でもある、児童クラブや長寿会の他、平成30年度は地元企業であるコールセンターを経営する株式会社プレステージ・インターナショナル所属の日本女子ハンドボールチーム「アランマーレ」の選手にも呼びかけを行い、快く参加してもらった。 雑草対策として年4回、春から秋に除草を行っている。</p>		

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地(畦畔、防風林含む)、水路、ため池、農道(路肩を含む)を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	かわべりみどりほぜんいいんかい 川縁水土里保全委員会	ふりがな 実施場所	うおづしかわべり 魚津市川縁
活動内容	<p>地域の農村環境の景観形成に資するため、農道の路肩に芝桜を植栽している。(年間約200m)</p> <p>活動期間を通じ年々実施範囲が伸長しており、フラワーロードとして地域住民の目を楽しませている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>地域の農村景観を豊かにすることにより、地域住民の農村環境保全の意識醸成を図るとともに、農道法面の雑草抑制効果を期待して景観植物の植栽を開始した。</p> <p>地域の土壌は石を多く含んでいるため、防草シートの固定ピンの選定には苦慮したが、試行のうえ地域に適した資材を採用し、円滑に活動を実施できている。</p>		
時期・回数	6月・1回		
参加者	構成員 約50名		
配慮事項	<p>より多くの地域住民の目に触れるよう、植栽場所を選定している。(地域の主要な道路周辺を植栽場所としている。)</p> <p>植栽する芝桜の生育を促進するとともに、雑草の草刈り作業を軽減するために防草シートを施工している。</p>		

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	45 植栽等の景観形成活動
取組	景観形成のための施設への植栽等		
取組概要	農用地(畦畔、防風林含む)、水路、ため池、農道(路肩含む)を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	たなかちいきしげんほぜんかい 田中地域資源保全会	ふりがな 実施場所	しもにいかわぐんにゆうぜんまちたなか 下新川郡入善町田中
活動内容	<p>農閑期に利用していないハウスを用いて、景観形成の花弁をプランターに植栽し、成長を待って、農道等に設置して景観形成を図ったほか、水路・畦畔の勾配を利用して芝を植栽している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>非農家、女性、子どもの参加を得ながら活動を行うことに留意しており、地域全体で農村環境を良く保つことができるよう取り組んでいる。</p>		
時期・回数	通年 2回		
参加者	活動組織の農業者等 約30人		
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等も多数参加することから、健康管理や事故のないように安全な箇所での施工に留意している。 ・芝の植栽に当たり、先進地で有識者の指導・助言(土の状態の調べ方(PH等)、施肥の仕方、刈込の仕方等)を得て、水稻栽培に影響のないよう管理している。 		